

経済日誌 (6.1～6.30)

国内外

6.4◇出生率、下げ幅拡大

厚生労働省が公表した、2019年の人口動態統計(概数)では、1人の女性が生涯に産む子どもの数にあたる合計特殊出生率は前年より0.06ポイント低い1.36と4年連続で低下した。生まれた子どもの数(出生数)は86万5,234人で1899年の統計開始以来、最少となった。

6.8◇世界成長、マイナス5.2%

世界銀行は、2020年の世界全体の実質経済成長率がマイナス5.2%に落ち込むとの予測を公表した。新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞で、1月時点の予想から7.7ポイントの大幅な下方修正。「第2次世界大戦以来、最悪の景気後退に直面している」と強い危機感を示した。

6.19◇国内移動、全面解禁

新型コロナウイルス対策のために自粛を求められていた都道府県をまたぐ移動が、全面的に解禁された。接待を伴う飲食店やライブハウスも、業界の感染防止策を守ったうえで営業が可能となった。感染リスクを抑えながらの社会経済活動の回復が少しずつ動き始めた。

6.29◇自動車、国内生産6割減

国内自動車大手8社が発表した5月の国内生産台数は、28万7,502台で前年同月比61.8%減となった。新型コロナウイルス感染症の影響による需要減などで、減少率は東日本大震災直後の2011年4月の60.1%を上回り過去最大となった。海外生産を含む世界生産も前年同月比61.8%減となった。

県内

6.13◇プレミアム宿泊券、45万枚応募

県は、新型コロナウイルス経済対策のプレミアム宿泊券について、第1弾の発行枚数30万枚に9万4,984人から45万6,143枚の応募があったと発表した。抽選の結果、6万2,496人が当選となった。6月22日からの第2弾(10万枚)の申し込みについても抽選となる見込み。

6.19◇医療従事者らへ慰労金

県は、医療従事者らへの慰労金を盛り込んだ総額81億8,456万円の一般会計補正予算案を発表した。国の制度に基づき医師、看護師らには1人当たり5～20万円を支給するほか、県独自の施策として、調剤薬局の薬剤師らには5万円を支給する。支給対象は約8万9,000人。

6.23◇秋田臨海鉄道、事業終了へ

県やJR貨物などが出資する第三セクターの秋田臨海鉄道(秋田市)は、2021年3月で事業を終了し、会社を解散すると発表した。2021年度は取り扱う貨物がなくなる予定で、事業継続が困難と判断した。同社は旧国鉄や県などが1970年に設立、今年で開業50年を迎えた。

6.29◇大曲の花火、見送り決定

大仙市や大曲商工会議所などでつくる「大曲の花火」大会委員会は、今夏の第94回全国花火競技大会(大曲の花火)について、新型コロナウイルスの感染防止のため開催を見送り、1年延期すると発表した。大会が行われないのは、戦後では大洪水のあった1947年以来。